

事業所名 アドベンチスト福祉会 ベーテルの夢Ⅱ

支援プログラム

作成日

2025年

3月

6日

| | | | | |
|-----------|-----------------|--|---------|--|
| 法人（事業所）理念 | | いのちを敬い、いのちを愛し、いのちに仕える | | |
| 支援方針 | | 「ありのまま」受け入れられている実感や体験を通して自分自身と他者を大切にすることを育みます | | |
| 営業時間 | | 10時00分 から 19時00分まで | 送迎実施の有無 | あり |
| 支 援 内 容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 別紙 | | |
| | 運動・感覚 | 別紙 | | |
| | 認知・行動 | 別紙 | | |
| | 言語 コミュニケーション | 別紙 | | |
| | 人間関係 社会性 | 別紙 | | |
| 家族支援 | | 1) 本人の強みや、感覚や認知の状況を共有し、ご家庭と事業所が同じ視点で成長を育めるよう連続的な支援を行っている 2) 定期的な面談により保護者の不安や思いを共有し、保護者が安心して子どもの成長を育めるように支援を行っている 3) ご家庭の状況をお伺いし、必要に応じて行政への橋渡しを行い包括的な支援を行っている | 移行支援 | 本人の強みや、感覚や認知の特性について、在学中の学校等と現状共有をした上で、移行先へ情報提供を行い、本人が移行先で安心して過ごせるように支援している また、必要に応じて行政等に情報提供を行い必要な支援が届けられるようにしている |
| 地域支援・地域連携 | | 1) 学校や児童館、行政等と子供や家庭の状況を共有し、本人が安心して地域社会で過ごせるように支援している 2) 養育環境に心配のあるご家庭については、学校や行政等と情報共有を行い、子供と保護者の適切な生活環境を支援している | 職員の質の向上 | 1) 聖書を根拠とした理念の学び 2) 放課後連沖縄・自立支援協議会研修参加 3) ムーブメント教育・療育実践の学び 4) 虐待防止・権利養護研修会 5) 救急法 6) 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修） 7) 児童発達支援管理責任者養成 |
| 主な行事等 | | 書初め・餅つき・お花見・味噌づくり・野外炊飯（畑の野菜を使った雑炊、焼き芋、ピザ、竹ご飯など）・いちご狩り・タンカン狩り・生け花体験・藍染・紅型・陶芸・機織り・川遊び・こいのぼり・七夕・ひな祭り・海水浴・動物園・水族館・美術館・博物館・サイクリング・海ブドウ養殖体験・サンゴ畑見学・クリスマス会など | | |

①健康・生活

| ねらい | 支援内容 |
|---------------------------|---|
| 健康状態の維持・改善 | <p>1) 自尊感情を育て健康な心とからだをつくる 体調不良を気遣ったり、愛情ある言葉かけをするなど、支援者から気にかけてもらう経験を通して、自分の健康状態に気付くことや周りの状態に気付く力を育てている</p> |
| | <p>2) 食育環境を提供し、作る楽しさを通して、自信や達成感を培い、健やかに生きる力を育てている 自分たちの畑でとれた野菜を使って料理をし、「美味しい、楽しい」を仲間と共有する経験を通して、食の幅を広げている（偏食へのチャレンジ）</p> |
| | <p>3) 畑活動・外遊びを積極的に行っている 戸外活動を積極的に行い、自然環境と人との相互作用により免疫力を高めて健康的なからだづくりを行っている（土の微生物や鳥のさえずりなどが皮膚や聴覚を通して脳内の神経伝達物質に影響を与え、免疫効果の向上、ストレスの無害効果を促す）</p> |
| | <p>4) 歯科衛生士による口腔ケアと歯科指導（1回/月） 歯の健康についての講話・個別指導（口腔チェック・ブラッシング）を行い、保護者と児童に口腔内の情報共有をし、虫歯の治療・予防をサポートしている</p> |
| | <p>5) 専門職による性教育（5回/年） ・心や身体の変化と発達を理解し、セルフケアを育んでいる</p> |
| | <p>6) 「いつも喜んでいなさい、たえず祈りなさい、すべての事について感謝しなさい」などの聖書の言葉から、ポジティブな生き方を学んでいる</p> |
| 生活リズムや生活習慣の形成・基本的生活スキルの獲得 | <p>1) 放課後デイでの生活習慣を繰り返し行うことで自分への信頼を培い、安心して生活する力を育てている ・来所時、靴下を靴にしまい、手洗い・足洗を行い、ランドセル・水筒などを所定の場所に片付ける ・宿題、おやつ、個別/集団活動参加、帰りの会などの生活リズムの形成</p> |

②運動・感覚

| ねらい | 支援内容 |
|--|---|
| 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上・身体の移動能力の向上・感覚の特性への対応 | <p>1) 自然の中で遊ぶことを意図して行い、自然環境と人（自然の刺激により神経伝達物質〈セロトニン・ドーパミン等）の放出がされる）の相互作用により下記の成長を促している</p> <p>①学習意欲や集中力・行動の抑制力が育ち、関係性の形成向上</p> <p>②土の上で遊ぶことにより、体のバランス感覚が育ち、円滑な動きの形成向上</p> <p>③多様な体験活動により、脳内の連携を促し感覚・身体機能の形成向上</p> <p>（畑活動・藍染体験・みそづくり・生け花・夜光貝工作・海ブドウ体験・ミカン狩り・イチゴ狩り・桜見・川遊び・海水浴・もちつき・野外炊飯（畑の野菜収穫後の雑炊づくり・野外ピザ・竹ごはん）スラックライン・焚火、焼き芋・書初め・買い物体験・カフェ体験・動物と遊ぶ・水族館・美術館他）</p> |
| | <p>2) セラピー犬との交わりを通して、温もりや心地よさを体験し、「安心」「安全」の感覚を育んでいる</p> |
| 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上・姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用・保有する感覚の活用 | <p>1) 専門講師による運動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な体幹づくりにより「やった」「できた」の体験を育んでいる ・筋力の維持・強化・歩く・走る・跳ぶ・止まる等の基本動作の習得を育んでいる |
| | <p>2) 専門講師によるリトミック（音楽療法）支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚・聴覚を使い、歌う事や体を動かすことを行い、脳内の運動野のつながりを強化している ・音（リズム）と視覚情報をからだに協調し、統合させることを育んでいる ・絵カードを使ってビジョントレーニングを行っている |
| | <p>3) 食育活動を通して感覚を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材を触り、目で見て調理することや、指示を聞くことで程よい料理ができる過程を体験し、五感の働きを育んでいる ・来所時に「いい匂いがする！何作ってるの？」などと児童から自然に声が出てくるような調理中の匂いや家庭的な雰囲気によって心を動かし、食べることや作ることへの意欲を促す |
| 感覚の特性への対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・感覚過敏（音・におい・触覚等）に対する環境の配慮を行い、支援者がそばに居て温もりを感じながら、苦手なことに触れることをスモールステップで行い、ポジティブな視点を形成している ・ネガティブな視点から、楽しそうにしている仲間視点に向けさせることにより「やってみたいなあ」の気持ちを引きだし、苦手を乗り越える力を育んでいる ・「この人と一緒なら怖いけど、試してみよう！」と思える支援者との関係性を育み、苦手な感覚の獲得を支援している |

| ③認知・行動 | |
|------------------------|--|
| ねらい | 支援内容 |
| 認知の特性についての理解と対応 | 1) 子どもの声に耳を傾け、認知（心）の再構築 発する言葉の間違いをすぐに否定せず、聴き入れられる経験が繰り返されることにより、人の言葉に耳を傾け、示唆や提案を素直に受け取り、考える姿勢を育てている |
| | 2) エンパワメント うまく出来た時の瞬間を逃さず褒めて、できることを増やし、自信を育み、子どもの内在的な力を発揮できるよう行動の変化を促している |
| | 3) 受容体験 子供のありのままを受容する支援者との関わりを通して、愛されている実感を持ち、自分と他者に対する信頼感を育て、非認知能力（協調・共感・自己肯定感・自制・主体性等）を芽生えさせ、認知能力（思考力・判断力・表現力）の成長を育むことで、自分と異なる他者を受け入れ、場に合った適切な態度を形成している |
| | 4) 子供たちとその日あった良いことを伝え合う 一日を振り返り、ポジティブな出来事を探し、発言する場（帰りの会）をつくり、「今のままの私でいいんだ」という実感を育んでいる |
| | 5) アサーション 自分の気持ちを大事にして、自己主張（アサーション）ができた時の心地よさを支援者と共有し、帰りの会などで振り返りを行い、適切なアサーションを習得できるように支援している |
| 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 | 1) 専門講師による性教育（心・体） パーソナルスペースの認識を通して、他の人との距離感や他人と自分を大切にすることを育んでいる |
| | 2) 専門講師による運動支援 跳び箱・マット運動やバレーボールなどの集団競技を通して空間認知を会得し適切な行動の習得を育んでいる |
| | 3) 専門講師によるリトミック（音楽療法）支援 ・音（リズム）や視覚情報を体に協調させる ・絵カードを使つてのビジョントレーニング |
| | 4) 日常の支援において、認知形成を育んでいる ・日常の活動を通して、日付の把握/集団ゲーム/買い物支援等による数の認知形成 ・活動のタイムテーブルを提示、自由遊び終了の時間を告げてカウントダウンするなど、時間の認知形成 ・食の実験・スライムづくりなどを通して、物や感触の変化による感覚の認知形成 ・ブロック遊びや工作などにより空間把握や感覚の認知形成 ・ものづくりを通して微細運動を行い、感覚機能の形成（段ボール工作・縫物・工芸他） ・集団活動による適切な行動形成 （転がしドッチボール・鬼ごっこなどを遊び通して物理的な距離感・人との適切な関わり方） ・身体を動かす活動を行うことで、海馬の働きを促し、空間や感情制御・記憶・思考能力を育てている |
| 行動障害及び対応 | 1) 子どもの声に耳を傾ける事により、踏みとどまる力を育んでいる 発する言葉の間違いをすぐに否定せず、まず子どもの声に耳を傾けることで、怒りやパニック時に踏みとどまる力を育み、落ち着いた行動を取り戻す手立てとしている |
| | 2) 子供の関わりにおいて意図して支援者の気持ちを伝える 「〇〇すると、先生は悲しくなるんだよね/〇〇くんがいるからうれしいなあ」など、意図して支援者の気持ちを伝える（言葉かけ）ことで、子どもが自分の気持ちと言葉を結び合わせることができ、「先生、ぼくは〇〇な気持ちだったから、〇〇したんだよ」など、適切な行動形成を育んでいる |
| | 3) 認知の歪みに気づきを促し、適応思考を育んでいる ネガティブな言動に至った気持ちを支援者が共感（「叩きたくなるほど悔しかったんだね」など）することで子供の心を開き、ネガティブな言動について子供が理解できる身近な例（「大好きなお母さんにはそんな言葉遣いしないよね？」など）を用いながら、自分の言動を客観視する作業を繰り返し、適応的な思考を育んでいる。 |
| | 4) 誰もが条件つきではなく、無条件に愛されるべき価値ある存在であることを「まず神がわたしを愛された」などの聖書の言葉を通して学んでいる |

④言語・コミュニケーション

| ねらい | 支援内容 |
|---|---|
| コミュニケーションの基礎的能力の向上・言語の受容と表出・言語の形成と活用・人と相互作用によるコミュニケーションの能力の獲得 | 1) 気持ちを育て、言葉の形成を育てている ・「先生行かないで、ここにいて」など、自分の気持ちを抑え込まず、素直に表現できたことを褒めて、自分の気持ちを大切にすることを育てている ・子どもの好きなことや強みを生かした活動を提供し、子どもの心が動くことで気持ちを言葉にして、コミュニケーションを楽しめるように支援している ・支援者が気持ちを伝える言葉かけをしていくことで、子供が自分の気持ちと言葉を結びあわせ、コミュニケーションの基礎的能力を育てている |
| | 2) 専門講師による性教育を通して他者との関係性を育む ・性教育においてグループワークを行い、自分の気持ちに気付くことを学び、自分の気持ちを大切にしつつ、他者への適切な自己主張を学んでいる（アサーショントレーニング） ・自分の体の仕組みを学ぶことを通して、自分を大切に、他者を大切にすることを学んでいる |
| | 3) 支援者との関係性を通して自尊心の素を育む 気持ちや痛みをわかってもらえる（大切にされる）経験を通して、自分の気持ちを安心して表現できるようにサポートしている |
| | 4) 食育で野菜を切ったり、混ぜたりするなどの手伝いや役割を通して「ありがとう」と言われる体験環境をつくり、自己効用感を育み、人とつながる喜びを育てている |
| | 5) 帰りの会で一日の出来事を通して感じたことを発表してもらう ・子どもの声に耳を傾けることを通して子どもの心を開き、聴く力・話す力を育てている ・言葉の間違いをすぐに否定せず、日常を通して聴き入れられる経験を繰り返し行い、自分らしく話せるように支援している |
| | 6) 休日支援における多様な体験プログラムを通して感受性や共感力を培っている わくわくする体験・豊かな感動を呼び覚ます多様な経験を積極的に行い、五感を刺激し、痛切に生じる感動により「これを伝えたい！」という気持ちを育て、人と喜びや楽しみを共有する力を育てている（藍染体験、味噌づくり、ミカン狩り、海ブドウ養殖、野外炊飯、海水浴、川遊び、カフェ体験、スラックライン、餅つき、美術館/博物館鑑賞、お花見他） |
| | 7) 絵本の読み聞かせにより感受性を育て、受容言語と表出言語の発達を促し、コミュニケーションの基礎的能力を育てている |
| | 8) 「あなたの隣人を愛しなさい」などの聖書の言葉を通して、相手を思いやり、豊かな関係性の根拠について学んでいる |
| コミュニケーション手段の選択と活用・状況に応じたコミュニケーション | 1) 状況に合わせた言動ができるように、その都度適切な言葉に言い換えたり、一緒に考えたりして、思いやりのある言動を育てている 帰りの会でネガティブな言動について振り返りを行い、思いやりのある言動について皆と一緒に考えている |
| | 2) 絵本や聖書の物語の読み聞かせ（視覚教材の活用）を通して、各々が感じた自由な感想や意見を発言できる場を提供し、お互いの捉え方や感じ方を大切に育てる力を育てている ・子どもが自由にのびのびと発言できるように、前もって友だちの発言を否定しないことを「自分にしてほしいことを友だちにもしてあげる」という聖書の言葉を踏まえて約束し、発表の場を提供している |
| | 3) 活動の中で「ごめんなさい」がしかるべき時に言えるように見守り、適切な態度や言葉が伝えられるように伴走している |
| | 4) 支援者が子供に助けを求める姿勢を示すことで、誰かに頼ることを学ばせている 「〇〇さん、重いから手伝ってほしい」など、子どもにできることをお願いすることを通して、頼っていいことを理解し、頼る力を育てている |
| 読み書き能力の向上 | 1) 言葉や文章の暗記を通して、記憶をつかさどる脳内の海馬や言語野の働きを促し、学習能力の向上を図っている |
| | 2) こどもの好きな遊びやゲームを通して読み書きへの興味を引き出し、言葉の概念や形成を育てている |

⑤人間関係・社会性

| ねらい | 支援内容 |
|---------------------------|---|
| アタッチメント（愛着）の形成と安定 | <p>1) 心の強さとレジリエンスを育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援者が子供のありのままを受容することで、子供が自分を好きになり、自分の苦手なところを受け入れられるしなやかな心を育てている ・子どもと呼吸を合わせて活動することで、「いつも見ていてくれる」という安心感を持ち、自分でやってみようという自律心や、自分への信頼を育てている ・支援者との信頼関係を築くことで、安心して心を開ける友達作りを支援している ・体調不良を気遣ったり、愛情ある言葉かけをしたりなどの、気にかけてもらう経験を通して、「自分は大切な存在だ」という自尊感情を育てている ・食育活動において、心のこもった温かい料理を食べる体験を通して、「安心」「安全」の感覚（愛着）を培っている ・自分で食事を作る体験を通して、「自分もできる」という自分への信頼を育み「安心」「安全」の基盤づくりをしている |
| | <p>2) 「たとえ母がその乳飲み子を忘れることがあろうとも、わたしはあなたを忘れない」や「わたしはあなたを白髪に至るまで背負う」などの聖書の言葉を通し、自分が生涯、見守られ、愛されていることを伝えている</p> |
| 遊びを通じた社会性の発達・仲間づくりと集団への参加 | <p>1) 多様な体験活動を通して自信を持ち、社会や人に関わる積極的な気持ちを育てている</p> |
| | <p>2) 子どものやりたいことや得意なことなどの強みを生かした支援プログラムを通して、友だちと笑い合い、つながり合う、仲間づくりの成功体験を育てている</p> |
| | <p>3) 友だちと協力して活動する様々な場面を提供し、相手の気持ちを思いやることや距離感を学ぶことを育み、集団参加を楽しめるように支援している</p> <p>室内集団遊び（ころがしドッチボール・バレー・しっぽ取りゲーム・食育・他）</p> |
| | <p>4) 戸外活動を行うことで、自然環境と人との相互作用により、開放感やわくわくの気持ちが増幅し、仲間同士の円滑な関係形成を育てている</p> |
| | <p>5) 戸外での遊びを積極的に提供し、友だち同士で工夫しながら主体的に遊びを創り、夢中になって遊ぶ経験を育てている</p> |
| 自己理解と行動の調整 | <p>1) 遊びを通して順番を待つことや負ける経験などを通して自分の気持ちに向き合い、感情をコントロールするなどのソーシャルスキルを育てている</p> |
| | <p>2) 遊具を他の人に渡す、遊具をもらう際にお願いの意思表示をするなどを通して社会性を育てている</p> |
| | <p>3) 定型発達児童（ボランティア）との交わりを通してお互いを知り、自己理解や行動の調整を学んでいる</p> |
| | <p>4) 「帰りの会」で座って話を聴くことを通して他者を尊重し、人の話を聴く力を育てている</p> |
| | <p>5) 地域の警察・消防所の見学や講話などを通して社会の仕組みやルールを学んでいる</p> |
| | <p>6) 「受けるより与える方が幸いである」や「自分を愛するように隣の人を愛しなさい」など、人を大切にすることで社会とつながっていくことを聖書から学んでいる</p> |